

# 教科の概要（地理歴史科）

## I. 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本人としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## II. 観点別評価の規準と基準

		規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	十分満足できる			
	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【概ね達成率 80%以上】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、見通しを持って考えることができる。また、資料などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察、構想したことを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 【概ね達成率 80%以上】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする主体的に取り組むことができる。 【概ね達成率 80%以上】	
B	おおむね満足できる			
	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解、説明できる。また、これら特色を調べまとめることができる。 【概ね達成率 35%】	地理や歴史に関わる事象について理解するとともに、見通しを持って考えることができる。また、資料などを活用して多面的・多角的に考察したり、表現したりすることができる。 【概ね達成率 35%】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする自主的に取り組む。 【概ね達成率 35%以上】	
C	努力を要する			
	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開について理解している。また、これら特色を調べることができる。	地理や歴史に関わる事象について理解するとともに、見通しを持って考えることができる。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする取り組み。	

## I. 授業の概要

教科	公民	科目	公共	単位数	2	年次	2
使用教科書	高等学校 公共（第一学習社）						
副教材等	「ライブ！2023 公共、現代社会を考える」（帝国書院） 4ステージ演習ノート 公共（数研出版）						

### 1. 学習の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

### 2. 3観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理念について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期考査、提出課題などを踏まえて総合的に評価します。		

### 3. 学習内容

1 学 期	第1編 公共の扉
	第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理
2 学 期	第2編 自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち
	第1章 法的な主体となる私たち
	第2章 政治的な主体となる私たち 第3章 経済的な主体となる私たち

### 4. 学習方法

複雑で変化の激しい世の中を生きることになる高校生みなさんが将来、法、政治、経済などの様々な課題に直面した時に自立した大人として考え、選択し、決断する力を身につけてもらうことを「公共」は目的としています。グループワークやディベート等、様々な手法で一人ひとりの考える力を育むことに重点を置いた授業を行います。授業で扱うテーマは法と政治の幅広い課題で、消費者教育、金融教育、社会保障、安全保障と国際貢献、地球環境や資源エネルギー問題などきわめて現代的なテーマが含まれています。ただ一つの答えを求めるのではなく、他者と協働しながらたくさんある答えの背景を読み解いていき

3 学 期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私	ましよう。 また、授業においてはMicrosoft Teamsを 活用した授業支援を行います。授業に関する 資料や定期考査の範囲などを掲載予定ですの で、登録をお願いします。
-------------	-----------------------	---

## II. 授業の概要

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	3	年次	2
使用教科書	世界史探究（東京書籍）						
副教材等	「最新世界史図説タペストリー二十一訂版」（帝国書院） 「要点マスター 世界史探究 整理と演習」（東京書籍）						

### 5. 学習の目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

### 6. 3観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期考査、夏休みの地歴公民科の課題などを踏まえて総合的に評価します。		

### 7. 学習内容

1学期	第11章 大航海時代と世界の一体化 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 第14章 国民国家と近代社会の形成 第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄
2学期	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦
3学期	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第20章 冷静の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会

### 8. 学習方法

1年「歴史総合」において学習した近現代史の事項を、さらに深めます。2年次においては、16世紀から21世紀までの世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史、琉球・沖縄の歴史と関連づけながら学んでいきます。1年生で履修した「歴史総合」同様、基本的には、教科書や資料集・準拠ノート等、様々な資料を活用しながら学習します。授業においては、予習を行うことが大切です。教科書の本文を一読し、準拠ノートをまとめておいた上で授業に臨むようにしてください。

1時間の授業において、歴史の変化に関わる事象の意味や意義、現代とのつながりを考えながら授業を受けるようにしてください。これからの社会を担う一員として、世の中の出来事や背景や原因に、関心を持ちましょう。新聞やニュースなどを見ることも、授業を理解する上で力になります。

また、授業においては Microsoft Teams 並びに OneNote を活用した授業を実施します。各自、タブレット端末もしくはスマホを毎回持参して下さい。

## I. 授業の概要

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	3	年次	2
使用教科書	新詳 地理探究、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE、2023年版 地理統計 Plus（帝国書院）						

1. **学習の目標** 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2. 3観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めることができる。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期考査、課題提出、グループワークへの取り組みなどを踏まえて総合的に評価します。		

### 1. 学習内容

1 学 期	<第1部第1章>1節地形/2節気候/3節日本の自然環境/<第2章>1節農林水産業/2節食料問題/3節エネルギー・鉱産資源/4節 資源・エネルギー問題/5節工業/6節第3次産業
2 学 期	<第3章>1節交通・通信/2節観光/3節貿易と経済圏<第4章>1節人口/2節人口問題/3節 村落と都市/4節都市・居住問題/<第5章>1節衣食住/2節民族・宗教と民族問題/3節国家の領域と領土問題/<第2部第1章>1節中国/2節韓国/3節ASEAN諸国/4節インド/5節 西アジアと中央アジア/6節北アフリカとサハラ以南アフリカ/7節 EU諸国

### 2. 学習方法

「地理探究」は、「地理総合」の学習によって身に付けた資質・能力を前提に、現代世界に求められるこれからの持続可能な日本の国土像を探究するための科目です。授業では、教科書・資料集・地図帳に加え、タブレット等も活用し世界・日本の特色、因果関係を学習して行きましょう。みなさんが「生涯にわたって探究を深める」ためのきっかけづくりにな

3 学 期	7 節 EU 諸国/8 節 ロシア/9 節 アメリカ合衆国/10 節 ラテンアメリカ/11 節 オーストラリアとニュージーランド<第3部第1章>1 節 将来の国土の在り方/2 節 持続可能な日本の国土像の探究	るよう、世の中の出来事とも関連させながら授業を行います。日頃から、新聞やニュースを確認するように心掛けましょう。
-------------	--	--

## I. 授業の概要

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	3	年次	2
使用教科書	日本史探究（東京書籍）						
副教材等	「図説 日本史通覧」(帝国書院)、 「ウィニングコンパス日本史の整理と演習」(とうほう) 「三訂版 高等学校 琉球・沖縄の歴史と文化」(東洋企画)						

### 1. 学習の目標

我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりをふまえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養う。

### 2. 3観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合は A, 「おおむね満足できる」場合は B, 「努力を要する」場合は C として評価する		
評 価 方 法		
定期考査や課題、授業態度などを踏まえて総合的に評価する。		

3. 学習内容 4. 学習方法

1 学 期	第 1 編 先史・古代の日本と東アジア 第 1 章 先史社会の生活と文化第 2 章 歴史資料と先史・古代の展望第 3 章 古代社会の形成と展開第 2 編 中世の日本と世界第 1 章 中世社会の成立第 2 章 歴史資料と中世の展望
2 学 期	第 3 章 中世社会の展開第 3 編 近世の日本と世界第 1 章 近世社会の形成第 2 章 歴史資料と近世の展望第 3 章 近世社会の展開第 4 編 近現代の地域・日本と世界 第 1 章 近代社会の幕開け 第 2 章 歴史資料と近現代の展望 第 3 章 近現代社会の展開
3 学 期	第 3 章 近現代社会の展開 第 4 章 現代の日本の課題の探究

「歴史総合」で学んだことを基に、日本史を発展的に学習するため、教科書や資料集だけでなく、様々な資料を活用しながら学習する。学習項目における必要な知識・技能を身につけると共に、思考力・判断力・表現力を備えるために、設定された「課題」に対する答え（論述）や授業内外の活動におけるグループワークやレポート作成などを実施する。

授業において主体的に学ぶためには、予習・復習が重要となる。従って、教科書の本文を一読し、学習の概要を理解した上で授業に臨み、授業後は副教材の演習問題やスタディサプリなどを活用して学習理解を深化させることが望ましい。

また、これからの社会を担う一員として、過去の歴史的事象から現在、未来のつながりを意識し、新聞やニュースを通して時事問題に関心を持ち、個々で課題解決のための考察をしていく。

授業においては Microsoft Teams 並びに OneNote を活用した授業を実施。各自、タブレット端末もしくはスマホを毎回持参する。